



---

# 観光に関するアンケート 報告書

---



玉造商工会

## 【目 次】

I. 調査概要	2
II. 調査結果報告	
1. 回答者の属性	4
2. 回答者の属性	5
3. 観光に関する意識	
(1) 居住地別来場回数	7
(2) 居住地別観光予算	8
(3) 魅力を感じる観光地	9
【参考】 鳴子温泉郷の入れ込み客数の推移	10
4. お土産に関する意識	
(1) お土産の購入意向	14
(2) 居住地別お土産の予算	14
(3) 興味・関心があるお土産品	16
III. 調査票	19

## I. 調査概要

1. 調査目的 : 当地の観光地である吹上高原キャンプ場へ来場した方を対象に観光及びお土産品の購入に対する意識を把握し、今後の地元観光産業の基礎資料として活用することを目的とする。

※ 特定の観光地選定の理由

当該地域への観光客は多種多様であることや調査費用の面から調査対象地を限定することで、まずは、その対象者の傾向を把握することを目的としている。以後、同様に複数の観光地来場者へ調査を実施できれば、各観光地来場者の傾向を把握及び比較することが可能となる。(但し、現段階での調査の実施は未定。)

2. 調査対象者 : 当地の観光地であるオートキャンプ場（報告書本編では、観光地と称する。）へ来られた方。  
若中年者層（20～30歳代）及び中高年者層（40歳以上）。

3. 調査数 : 回収数 102 サンプル。  
20歳代未満、20歳代 11票（10.8%）  
30歳代 37票（36.3%）  
40歳代以上 46票（45.1%）  
不明 8票（7.8%）

4. 調査方法 : オートキャンプ場内において実施。  
自記式記入、面接法。

5. 調査期間 : 平成28年8月6日（土）  
平成28年8月12日（金）

6. 調査項目 : ①. 観光に関する項目  
質問1. 来地頻度  
質問2. 観光予算・土産品の予算  
質問3. 観光地の魅力

- ②. 土産品に関する項目
  - 質問4. 土産品の購入意向
  - 質問5. 土産品の魅力
  - 質問6. フェイスシート

- 7. 主な分析方針 :
  - ①. 観光に関する意識
    - 当地への来町頻度、観光の予算額、当観光地の魅力
    - 土産の購入意向
    - 土産品の魅力、土産品購入予算の相違があるかを分析。
  - ②. お土産に関する意識
    - お土産予算、お土産の購入意向、当地物産品への興味・関心
  - ③. その他
    - 来場者属性
  
- 8. その他 :
  - ①. 集計結果にあたっては、回収数を母数（標本内標本）とし地域全体の代表性を表すものではない。
  - ②. 集計時の構成比は小数点以下2位を四捨五入しているため合計が必ずしも100%にはならない（99.9～100.1）場合があるが、表記は100.0%としている。
  - ③. 報告書作成においては、集計・分析方針を受けて有用と判断されるものを採択し掲載することとする。

## II. 調査結果報告

### 1. 回答者の属性（その1）

調査協力者は、観光地において任意により選定し依頼した。調査実施の難易度を考慮し、性別、年代別の回収数指定は行っていないため、両属性において偏りはあるが特定の分析においてある程度の傾向を把握するために設定した。

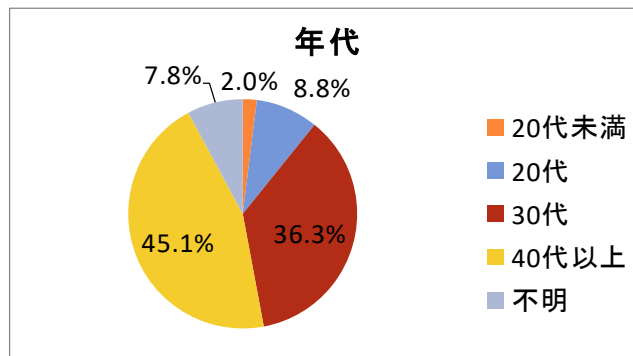
また、当観光地において家族単位での来場者が多かったこともあり、世帯主が調査に協力するケースが多く、性別では男性が約2/3を占め、年代別では30歳代、40歳代の回答者が多くなっている。

回答された内容は概ね世帯の意見として反映されていると解釈するものである。

#### ①. 回答者の属性（性別）

【図 1-1】

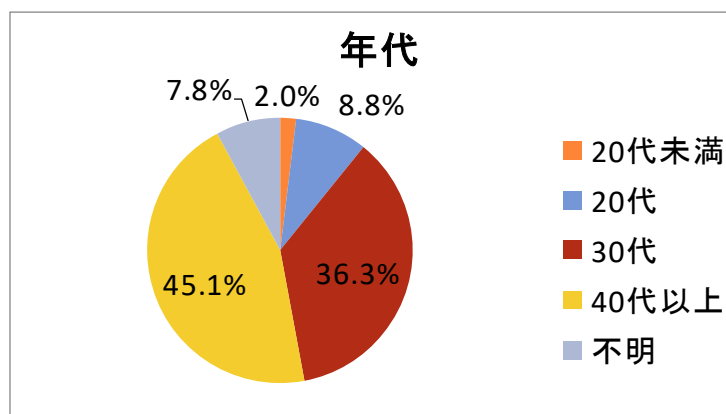
合計	男性	女性
102	67	35
100.0%	65.7%	34.3%



#### ②. 回答者の属性（年代別）

合計	20代未満	20代	30代	40代以上	不明
102	2	9	37	46	8
100.0%	2.0%	8.8%	36.3%	45.1%	7.8%

【図 1-2】



## 2. 回答者の属性（その2）

本調査において、各テーマを分析する際、主に用いられる回答者の属性は、以下の来場者の居住地と来場頻度である。両属性とも分析結果を読み解き、今後の施策へ反映させるための指針となる設問である。

### ①. 来場者の居住地

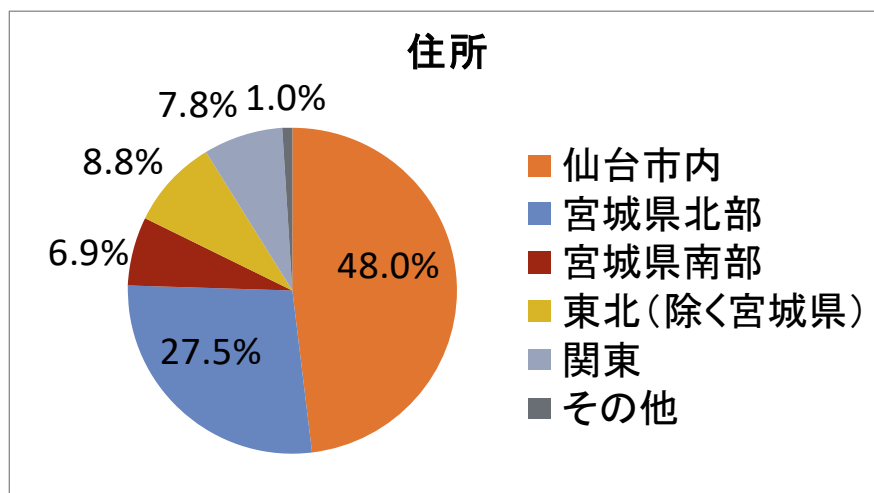
「宮城県内からの来場者が大概を占め 82.4%。

うち、仙台市が最多で 48.0%と約半数を占める。」

当観光地の来場者は、宮城県内からの来場者が大概を占め 82.4%、うち、仙台市が最多で 48.0%と約半数を占めた。

合計	仙台市内	宮城県北部	宮城県南部	東北 (除く宮城県)	関東	その他
102	49	28	7	9	8	1
100.0%	48.0%	27.5%	6.9%	8.8%	7.8%	1.0%

【図 2-1】



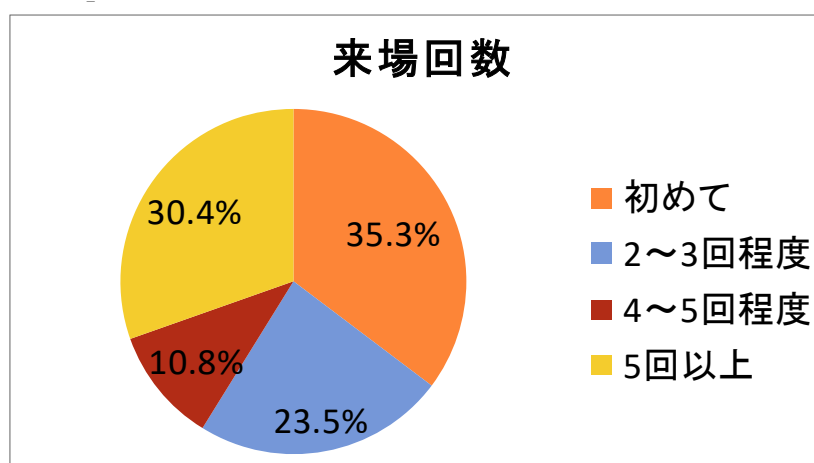
②. 来場者の当地への来場回数

「来場回数は、初めて来たが 35.3%、2 回以上の来場者の割合をみると合計で 64.7% とリピーターが多い。」

当観光地への来場回数は、初めて来たが 35.3%、一方で、2 回以上の来場者の割合は合計で 64.7% とリピーターが多いことがわかる。

この結果からこの観光地への満足度が高いことが伺える。

合計	初めて	2 ～ 3 回 程 度	4 ～ 5 回 程 度	5 回 以 上
102	36	24	11	31
100.0%	35.3%	23.5%	10.8%	30.4%



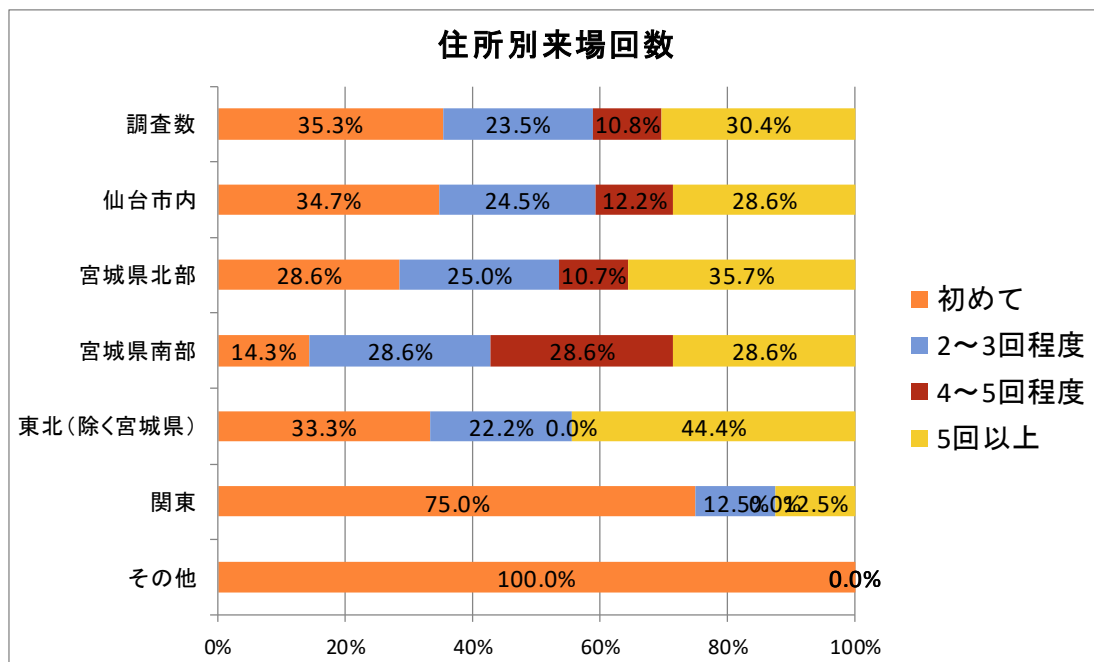
### 3. 観光に関する意識

#### (1) 居住地別来場回数

「仙台市、関東方面からの来場者は「初めて」が最多で、それぞれ 34.7%、75.0%」  
(解説後述)

		初 め て	2 ～ 3 回 程 度	4 ～ 5 回 程 度	5 回 以 上
調査数	102	36	24	11	31
	100.0%	35.3%	23.5%	10.8%	30.4%
仙台市内	49	17	12	6	14
	100.0%	34.7%	24.5%	12.2%	28.6%
宮城県北部	28	8	7	3	10
	100.0%	28.6%	25.0%	10.7%	35.7%
宮城県南部	7	1	2	2	2
	100.0%	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%
東北(除く宮城県)	9	3	2	0	4
	100.0%	33.3%	22.2%	0.0%	44.4%
関東	8	6	1	0	1
	100.0%	75.0%	12.5%	0.0%	12.5%
その他	1	1	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【図 3-1】





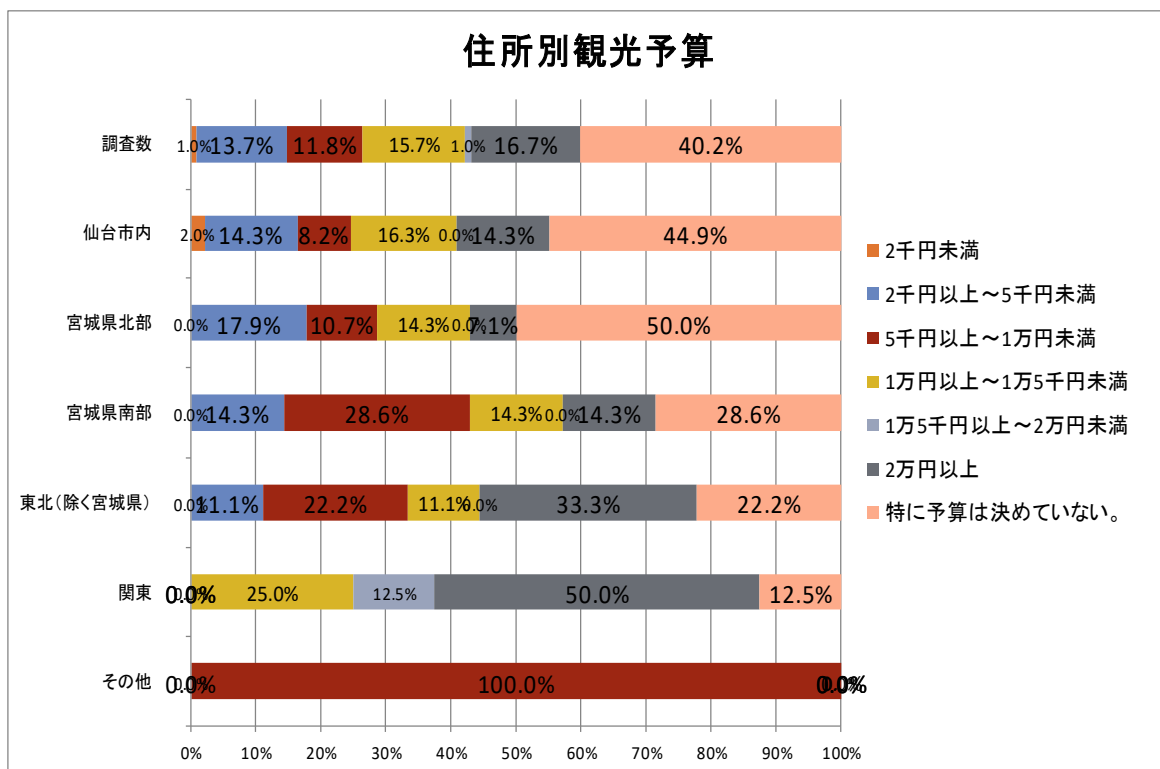
(2) 居住地別観光予算

「当観光地への全体平均予算は 12,066 円。

全体では「特に予算は決めていない」が最多の 40.2%」

	2 千 円 未 満	5 千 円 未 満	2 千 円 以 上 5 千 円 未 満	1 万 円 未 満	5 千 円 以 上 1 万 円 未 満	1 万 5 千 円 以 上 未 満	2 万 円 未 満	2 万 円 以 上	特 に 予 算 は 決 め て い な い。 。
調査数	102 100.0%	1 1.0%	14 13.7%	12 11.8%	16 15.7%	1 1.0%	17 16.7%	41 40.2%	
仙台市内	49 100.0%	1 2.0%	7 14.3%	4 8.2%	8 16.3%	0 0.0%	7 14.3%	22 44.9%	
宮城県北部	28 100.0%	0 0.0%	5 17.9%	3 10.7%	4 14.3%	0 0.0%	2 7.1%	14 50.0%	
宮城県南部	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	
東北(除く宮城県)	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%	
関東	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

【図 3-2】



### (1) 居住地別来場回数

居住地別で来場者の動向をみると、仙台市からは「初めて」が最多で34.7%次いで、5回以上の28.6%、「2～3回」が24.5%等となった。

当地への来場者数が最も多い仙台市内からの動向は、当地（調査地）以外の観光地対策として今後着目すべき事象である。

次に、来場者数が2番目に多い宮城県北部地域からは「5回以上」が最多となり35.7%であった。こうした傾向から、当地の誘客に関する対策は満足度を高めカスタマイズ化を促進させることが一つの鍵になると考えられる。

その他、少数の回答者数ではあるものの関東方面からの来場者は75.0%が「初めて」との回答であった。」

### (2) 居住地別観光予算

今回調査対象となった観光地への観光予算は全体平均で12,066円となった。また、階層別ごとに傾向をみると「特に予算は決めていない」が最多で40.2%となった。これは、回答者の82.4%が宮城県内からの来場者で気軽に当地へ訪れていることに起因し、近場の手軽な観光地という意識が伺える。

特に、来町頻度が多い仙台市内では44.5%が、宮城県北部からは50.0%が「予算を決めていない」と回答している。

### (3) 魅力を感じる観光地（複数回答）

(※魅力を感じる観光地に関する分析内容においては、本調査の調査地がオートキャンプ場であることから必然的に「アウトドア施設・環境」の値が高くなっている。

これは設問設計上の観点からこの選択肢を入れているが、設問の狙いはこの選択肢以外の傾向を知ることであり、アウトドア派の観光客の傾向を伺うところにある。そのため、「アウトドア施設・環境」の結果には触れていないことに留意。

また、以降同様である。)

【参考】 鳴子温泉郷の入込客数の推移

鳴子温泉郷入込数

参考：震災前)

観 光 地 点	H22年入込	H24年入込	H25年入込	H26年入込	H27年入込
鳴 子 温 泉	1,152,300	1,057,000	1,123,500	1,073,700	1,080,900
(うち宿泊観光客数)	475,100	466,400	406,800	370,100	352,400
中 山 平 温 泉	202,200	195,800	169,500	161,200	157,500
(うち宿泊観光客数)	90,200	82,400	42,800	42,000	39,200
東 鳴 子 温 泉	149,400	142,400	112,100	118,700	111,700
(うち宿泊観光客数)	75,900	76,900	35,600	36,600	35,300
川 渡 温 泉	67,200	67,300	72,600	61,700	60,700
鬼 首 温 泉	94,500	58,900	89,900	83,800	59,400
鳴 子 峡	191,700	179,800	180,100	181,200	193,900
日 本 こ け し 館	19,441	19,040	21,400	17,388	16,954
潟 沼	20,700	14,700	19,200	29,000	31,800
鳴 子 ダ ム	26,400	42,000	45,200	59,900	54,700
上 野 ヲ ス キ ー 場	7,059	6,721	5,900	5,700	5,400
リゾートパークオニコウベ	140,100	112,500	113,700	110,700	107,600
(うち宿泊観光客数)	32,800	33,200	27,600	22,900	17,000
吹上高原【キャンプ場】	67,700	58,000	61,200	59,400	73,600

鳴子温泉郷の入れ込み客数の推移を見てみると、温泉利用客数全体ではやや減少傾向が見られる一方、宿泊観光客数は大幅な減少傾向にあり中には震災前と比較した時、約半分の客数になっている温泉地も見受けられる。

代表的な温泉地である鳴子温泉では、震災前の平成22年と平成27年の入れ込み客数を比較すると、全体では93.8%の減少に対し宿泊客数は74.2%と減少幅が大きくなっている。

また、今回の調査地でもある吹上高原では、同年比較で8.7%の伸びを示していることや、鳴子ダムが2倍以上の入れ込み客数になっているなど、当観光地の利用状況、観光目的等が変わってきていることがわかる。

①. 来場回数別魅力を感じる観光地

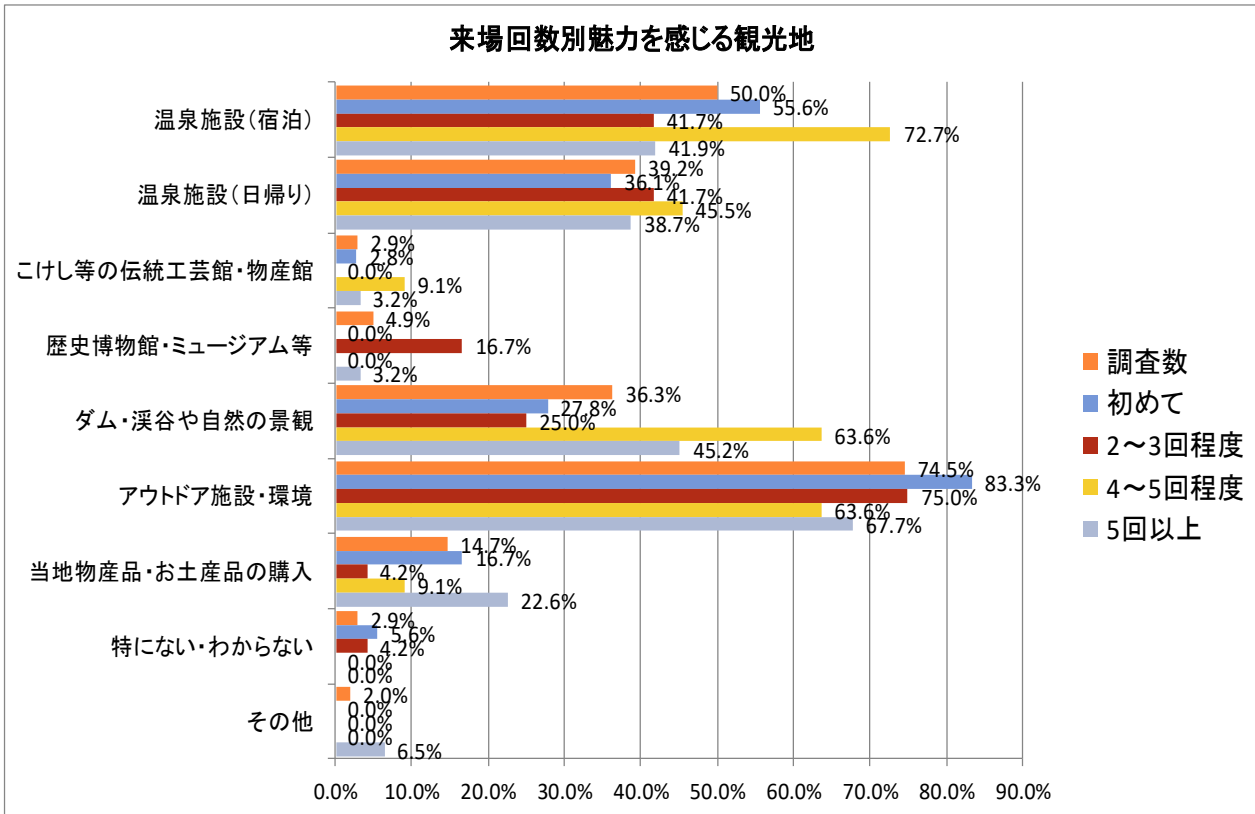
「温泉施設（宿泊）が最多の 50.0%」（アウトドア施設・環境を除く。）

今回の調査地（吹上高原キャンプ場）の回答者の意向は、鳴子温泉郷の入れ込み客数のデータとは異なり、温泉施設（宿泊）が全体で最多の 50.0%となった。（アウトドア施設・環境を除く。）特に、「初めて」の来場者はその意向が強く 55.6%が回答している。

また、「4～5回」「5回以上」の来場者は温泉地（宿泊）に加え「ダム・渓谷や自然の景観」、「アウトドア施設・環境」も同様に魅力を感じている割合が高くなっている。来場回数が多い方は、当観光地の状況もある程度把握していると考えられることから、こうした傾向になったと伺える。

		温泉施設 （宿泊）	温泉施設 （日帰り）	・こけし等の 伝統工芸館	歴史博物館・ ミュージアム等	ダム・渓谷や 自然の景観	アウトドア 施設・環境	当地産品の 購入	特 に わ か ら な い ・	そ の 他
調査数	102	51	40	3	5	37	76	15	3	2
	100.0%	50.0%	39.2%	2.9%	4.9%	36.3%	74.5%	14.7%	2.9%	2.0%
初めて	36	20	13	1	0	10	30	6	2	0
	100.0%	55.6%	36.1%	2.8%	0.0%	27.8%	83.3%	16.7%	5.6%	0.0%
2～3回程度	24	10	10	0	4	6	18	1	1	0
	100.0%	41.7%	41.7%	0.0%	16.7%	25.0%	75.0%	4.2%	4.2%	0.0%
4～5回程度	11	8	5	1	0	7	7	1	0	0
	100.0%	72.7%	45.5%	9.1%	0.0%	63.6%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%
5回以上	31	13	12	1	1	14	21	7	0	2
	100.0%	41.9%	38.7%	3.2%	3.2%	45.2%	67.7%	22.6%	0.0%	6.5%

【図 3-3】



②. 居住地別魅力を感じる観光地

「温泉施設（宿泊）は仙台市内在住の方が最多で 57.1%」

（アウトドア施設・環境を除く。）

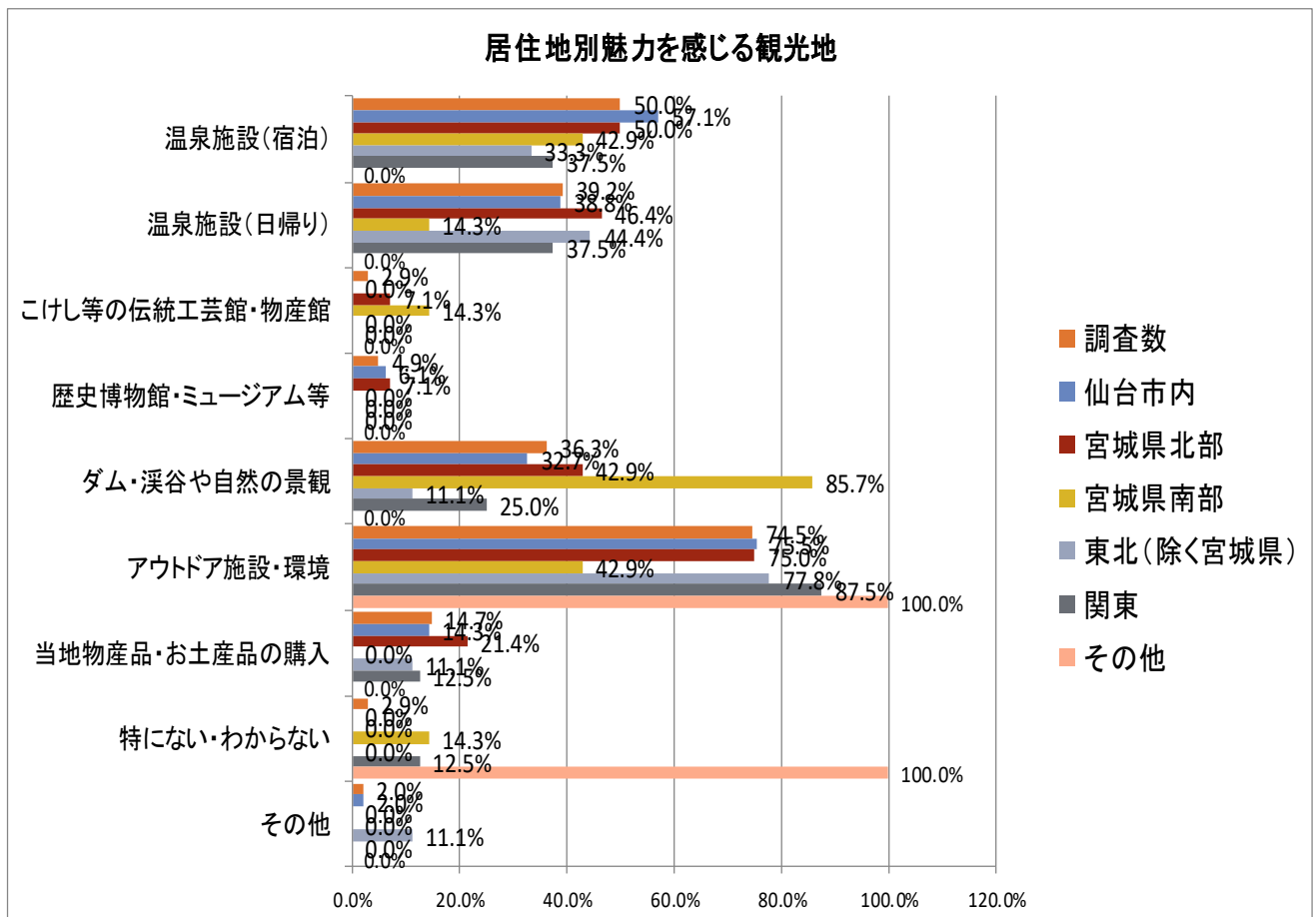
居住地別では、仙台市及び宮城県北部在住の方が温泉施設に魅力を感じており（宿泊）、（日帰り）ともに他の観光地、観光施設より多い回答となっている。

特に、仙台市内の方はその傾向が強く 57.1%が温泉施設（宿泊）と回答している。

また、宮城県南部の方は「ダム・渓谷や自然の景観」に魅力を感じている方が他の居住地の方と比較して多くみられ 85.7%が回答した。

	温泉施設 (宿泊)	温泉施設 (日帰り)	こけし等の 伝統工芸館 ・物産館	歴史博物館・ ミュージアム等	ダム・渓谷や 自然の景観	アウトドア 施設・環境	当地物産品・ お土産品の購入	特にな い・わ から ない	その他	
調査数	102	51	40	3	5	37	76	15	3	2
	100.0%	50.0%	39.2%	2.9%	4.9%	36.3%	74.5%	14.7%	2.9%	2.0%
仙台市内	49	28	19	0	3	16	37	7	0	1
	100.0%	57.1%	38.8%	0.0%	6.1%	32.7%	75.5%	14.3%	0.0%	2.0%
宮城県北部	28	14	13	2	2	12	21	6	0	0
	100.0%	50.0%	46.4%	7.1%	7.1%	42.9%	75.0%	21.4%	0.0%	0.0%
宮城県南部	7	3	1	1	0	6	3	0	1	0
	100.0%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	85.7%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%
東北(除く宮城県)	9	3	4	0	0	1	7	1	0	1
	100.0%	33.3%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%
関東	8	3	3	0	0	2	7	1	1	0
	100.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	25.0%	87.5%	12.5%	12.5%	0.0%
その他	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%

【図 3-4】



#### 4. お土産に関する意識

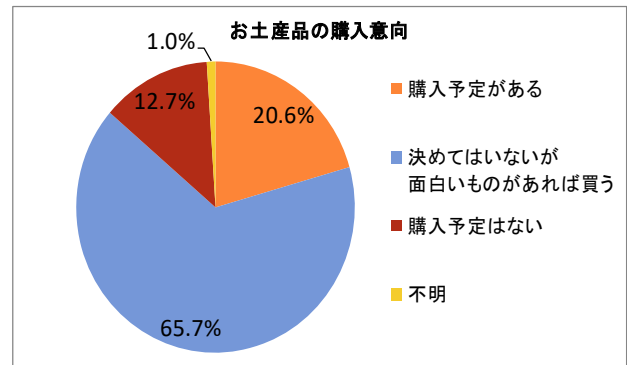
##### (1) お土産の購入意向

「決めていないが面白いものがあれば買う」が最多で 65.7%。

お土産の購入意向については、「決めていないが面白いものがあれば買う」が最多で 65.7%となった。

【図 4-1】

合計	購入予定がある	決めていないが面白いものがあれば買う	購入予定はない	不明
102	21	67	13	1
100.0%	20.6%	65.7%	12.7%	1.0%



##### (2) 居住地別お土産の予算

「お土産の予算は全体平均で 3,814 円」

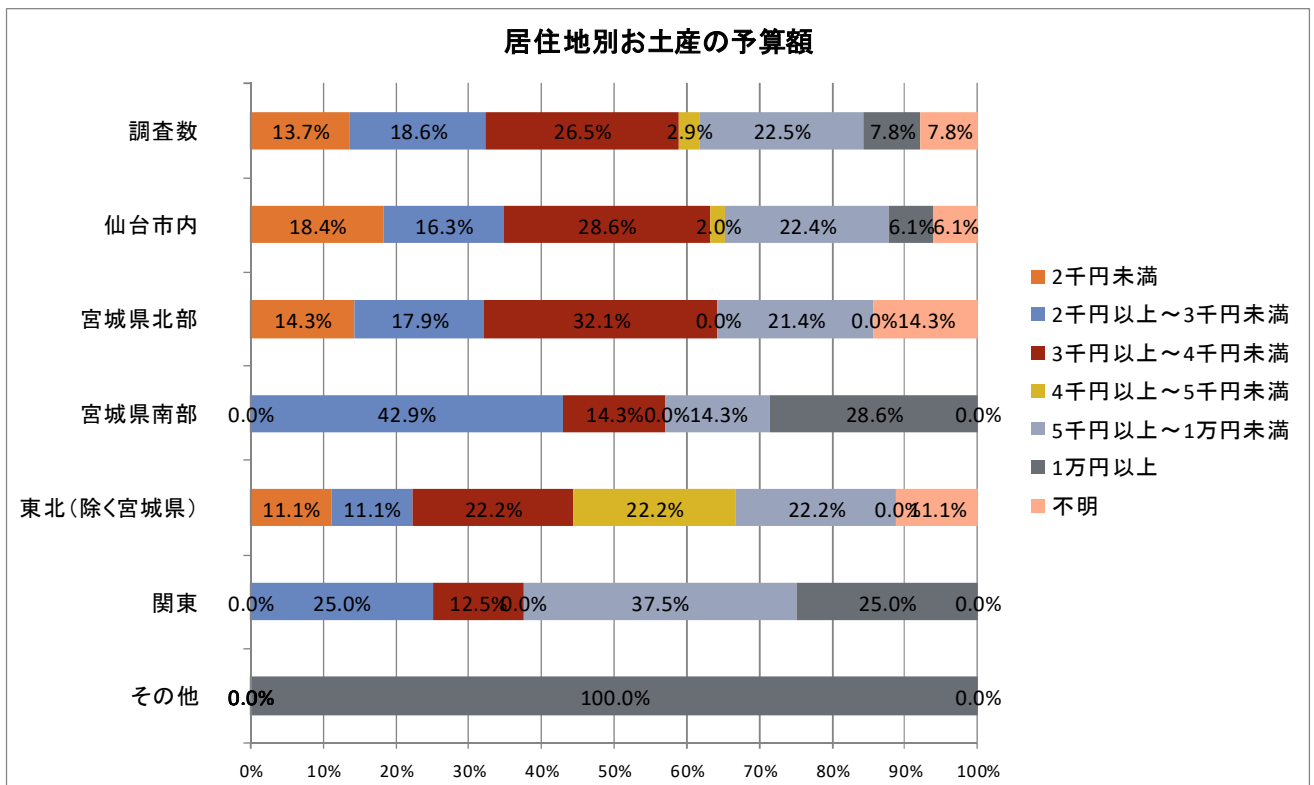
来場者のお土産に関する平均予算額は、全体で 3,814 円となった。

これは、購入予定の有無に係らずお土産の予算額を聞いているもので、概ねの購入予算額を把握することを狙いとしている。特に、(1) お土産の購入意向で「決めていないが面白いものがあれば買う」という回答が 65.7%を占める中、購入意向者を限定することは難しいこともある。

居住地別で予算額の傾向をみると全体で「3 千円～4 千円未満」26.5%、「5 千円～1 万円未満」22.5%に比較的多く回答が集まっているが、特定の地域の来場者から突出した傾向は何もない。

		2 千 円 未 満	3 千 円 未 満 以 上	4 千 円 未 満 以 上	5 千 円 未 満 以 上	1 万 円 未 満 以 上	1 万 円 以 上	不 明
調査数	102	14	19	27	3	23	8	8
	100.0%	13.7%	18.6%	26.5%	2.9%	22.5%	7.8%	7.8%
仙台市内	49	9	8	14	1	11	3	3
	100.0%	18.4%	16.3%	28.6%	2.0%	22.4%	6.1%	6.1%
宮城県北部	28	4	5	9	0	6	0	4
	100.0%	14.3%	17.9%	32.1%	0.0%	21.4%	0.0%	14.3%
宮城県南部	7	0	3	1	0	1	2	0
	100.0%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
東北(除く宮城県)	9	1	1	2	2	2	0	1
	100.0%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%
関東	8	0	2	1	0	3	2	0
	100.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	37.5%	25.0%	0.0%
その他	1	0	0	0	0	0	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

【図 4-2】





(3) 興味・関心があるお土産品（複数回答）

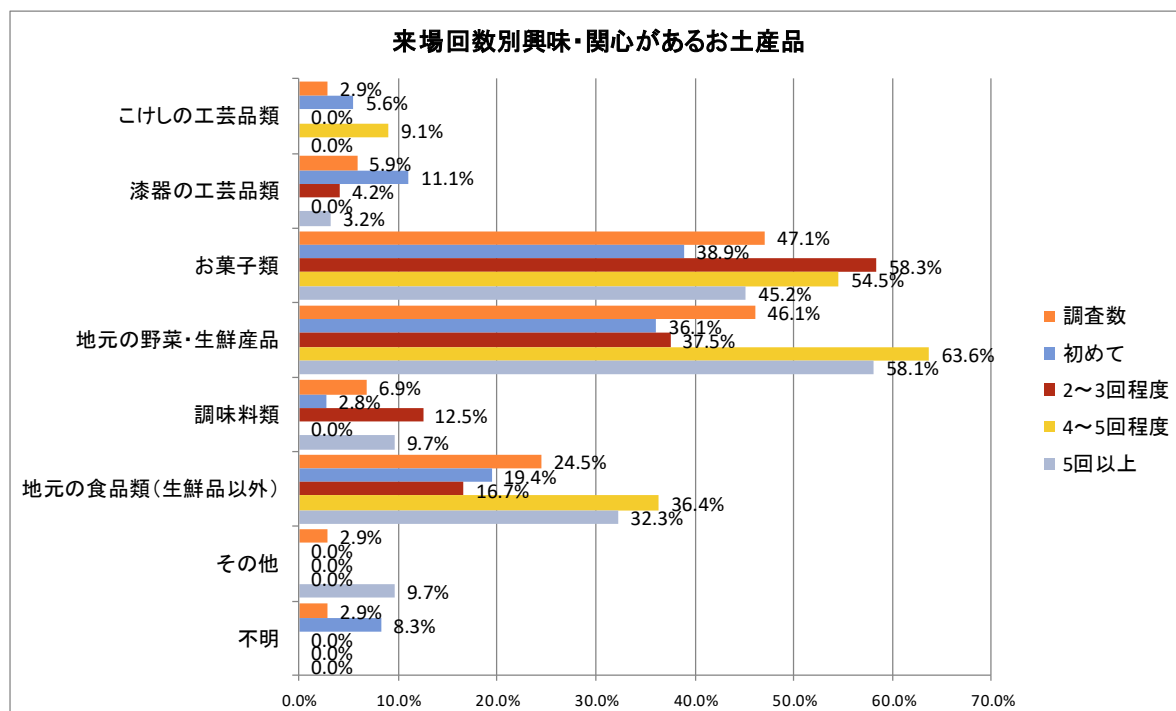
①. 来場回数別興味・関心があるお土産品

4回以上の来場回数の方は「地元の野菜・生鮮三品」に興味・関心が高い。

興味・関心のあるお土産品は、来場回数によって傾向が異なった。来場回数が「初めて」「2～3回」の方は、「お菓子類」の回答が最も高く、それぞれ38.9% 58.3%となり、「4～5回」「5回以上」の方は、「地元の野菜・生鮮三品」の興味・関心が高いようで、それぞれ63.6%、58.1%となっている。

		こけしの 工芸品類	漆器の 工芸品類	お菓子 類	生地の 産品の 野菜・ 野菜	調味 料類	（地元の 生鮮品の 食品類 以外類）	その他	不明
調査数	102	3	6	48	47	7	25	3	3
	100.0%	2.9%	5.9%	47.1%	46.1%	6.9%	24.5%	2.9%	2.9%
初めて	36	2	4	14	13	1	7	0	3
	100.0%	5.6%	11.1%	38.9%	36.1%	2.8%	19.4%	0.0%	8.3%
2～3回程度	24	0	1	14	9	3	4	0	0
	100.0%	0.0%	4.2%	58.3%	37.5%	12.5%	16.7%	0.0%	0.0%
4～5回程度	11	1	0	6	7	0	4	0	0
	100.0%	9.1%	0.0%	54.5%	63.6%	0.0%	36.4%	0.0%	0.0%
5回以上	31	0	1	14	18	3	10	3	0
	100.0%	0.0%	3.2%	45.2%	58.1%	9.7%	32.3%	9.7%	0.0%

【図 4-3】



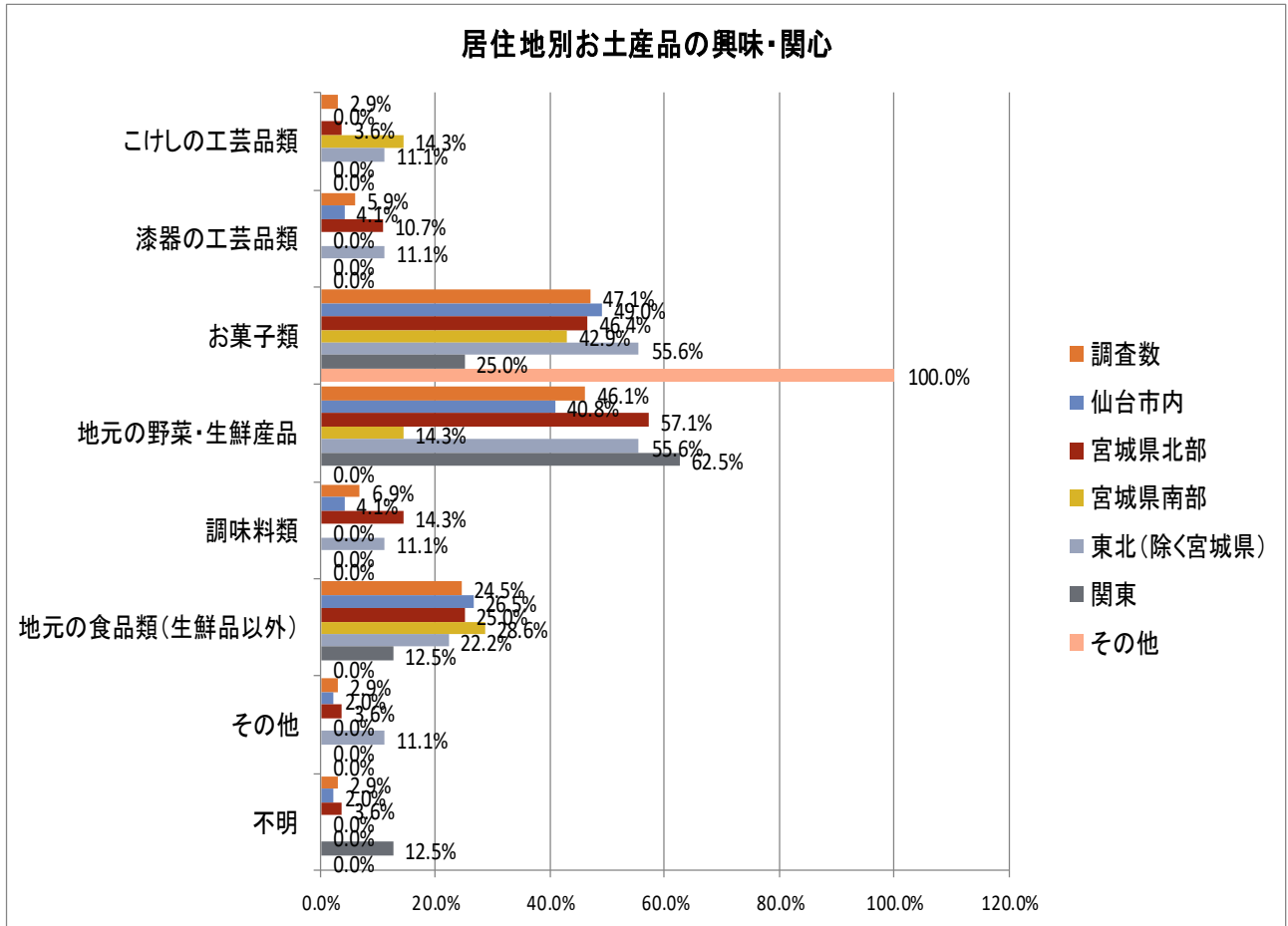
②. 居住地別興味・関心があるお土産品

居住地ごとに「お菓子類」と「地元の野菜・生鮮産品」とに興味・関心が別れた。

お土産品に関する興味・関心は居住地ごとに異なる結果となり、「お菓子類」では仙台市内、宮城県南部が多く回答を集め、それぞれ49.0%、42.9%となった一方、「地元の野菜・生鮮産品」は宮城県北部、関東方面からの来場者が回答を集めそれぞれ57.1%、62.5%となった。なお、東北（宮城県を除く）では同率で55.6%であった。

		こけしの 工芸品類	漆器の 工芸品類	お菓子類	生地の 産品の 野菜・	調味料類	(地元の 生鮮の 食品以 外類)	その他	不明
調査数	102 100.0%	3 2.9%	6 5.9%	48 47.1%	47 46.1%	7 6.9%	25 24.5%	3 2.9%	3 2.9%
仙台市内	49 100.0%	0 0.0%	2 4.1%	24 49.0%	20 40.8%	2 4.1%	13 26.5%	1 2.0%	1 2.0%
宮城県北部	28 100.0%	1 3.6%	3 10.7%	13 46.4%	16 57.1%	4 14.3%	7 25.0%	1 3.6%	1 3.6%
宮城県南部	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
東北(除く宮城県)	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	5 55.6%	5 55.6%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
関東	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	5 62.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【図 4-4】



以上

### Ⅲ. 調 査 票

## 『観光に関するアンケート』



**玉造商工会**

宮城県大崎市岩出山字浦小路 40-5 電話 0229-72-0027

URL : tamadukuri.miyagi-fsci.or.jp

玉造商工会では観光産業の魅力の強化、観光サービスの向上を目指して「観光に関するアンケート」を実施させて頂いております。このアンケートは、当市へ観光地目的でご来場頂いた方にお伺いしております。甚だ恐縮ではございますが、僅かなお時間で終了しますのでご協力賜りますようお願い申し上げます。

#### 【観光に関するお伺い】

質問 1. 当地に訪れた回数は、今回で何回目ですか？（1つに○）

1. 初めて      2. 2～3回程度      3. 4～5回程度      4. 5回以上

質問 2. 当地へ観光でお越し頂くに当たって、おおよそのご予算はおいくら位ですか？

1,000円単位でお書きください。（ご家族でお越しの際はお一人様換算でお願いします。）

1. \_\_\_\_\_ 円      2. 特に予算は決めていない

質問 2-1. 普段お土産を買う時は、おおよそおいくら位が目安となりますか？

\_\_\_\_\_ 円

質問 3. 今回ご利用頂いている観光地・観光施設以外で、当地の魅力を感じる観光地や観光施設はどのようなところでしょうか？（いくつでも○）

1. 温泉施設（宿泊）      2. 温泉施設（日帰り）      3. こけし等の伝統工芸館・物産館  
4. 歴史博物館・ミュージアム等      5. ダム・溪谷や自然の景観      6. アウトドア施設・環境  
7. 当地物産品・お土産品の購入      8. 特にない・わからない      9. その他（      ）

#### 【お土産に関するお伺い】

質問 4. 当地で自家用、またはお土産を購入するご予定はありますか？（1つに○）

1. 購入予定がある      2. 決めてはいないが面白いものがあれば買う      3. 購入予定はない

質問 5. 質問 4. で、1. または 2 を選ばれた方にお伺いします。

どのようなものに興味、関心がありますか？（いくつでも○）

1. こけしの工芸品類      2. 漆器の工芸品類      3. お菓子類      4. 地元の野菜・生鮮産品  
5. 調味料類      6. 地元の食品類（生鮮品以外）      7. その他（      ）

質問 6. ご回答頂きましたあなた様についてお伺いします。

●性別      1. 男性      2. 女性      ●年代      \_\_\_\_\_ 歳代

●ご住所      1. 仙台市内      2. 宮城県北部      3. 宮城県南部

4. 宮城県以外（県名のみお書きください。） \_\_\_\_\_ 県